

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成 19 年度				管理	5-8-5-1
事務事業名 下水道使用料徴収事業				部等名	企業局
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	上下水道課
	公共下	07-010101003	細々目名		
政策体系	基本目標	5	安全・安心な環境のまちづくり		
	施策	8	下水道等の整備		
	基本事業名	5	下水道使用料徴収		

事業概要 実施内容	下水道使用料の計算事務及び徴収事務の委託 収納業務は、市税務課へ委託している。				
根拠法令等	下水道条例	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業		
		評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定(年度 ~ 年度)			
決算額	1 報酬	円	11 需用費	2,352 円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役務費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	8,159,633 円	19 負担金補助及び交付金	円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	8,161,985 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象 (誰を、何を)		・下水道 (農業集落排水事業を含む) を使用している市民 ・下水道使用料	
手段 (事業の具体的な内容、手順等)		活動指標名・式 (アウトプット) 活動の大きさを表す指標	
・下水道使用料の賦課・調定 (偶数月) ・下水道使用料の収納業務を市税務課に委託 随時分 (転出等) は、上下水道課において対応		指標 (1)	名称 調定額 式
意図 (対象を、どのような状態にしたいのか)		成果指標名・式 (アウトカム) 意図の達成度を表す指標	
下水道施設の維持管理費用の財源とするために、下水道使用料を確保する。		指標 (1)	名称 収納額 式
事務事業を実施 (意図を実現) することで、施策にどのように貢献していますか 公共用水域 (河川、水路等) の水質保全			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)	
指標	活動指標 (1)	千円			217,032	217,651		
	活動指標 (2)	千円						
	成果指標 (1)	千円			208,670	206,770		
	成果指標 (2)	千円						
投入量	事業内訳	国・県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円			8,162	8,305	
		一般財源	千円					
	事業費計 (A)	千円			8,162	8,305		
人員費	職員数	人			0.5	0.5		
	人件費平均額 (年)	千円			8,373	8,373		
	人件費計 (B)	千円			4,187	4,187		
総事業費 (A+B)	千円			12,349	12,492			

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

・事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境 (対象者・法令等・社会情勢) はどう変わりましたか? 下水道は本宮地区でのみ実施している事業であり、白沢村との合併に伴い下水道区域が地域的に偏ってしまった。
この事業に対して、関係者 (市民・議会・事業対象者・利害関係人等) からどんな意見や要望が寄せられていますか? ・景気が悪く収入も減ってきているため、使用料が納められないとの声がある。 ・納めたくても、仕事の関係で日中は銀行等に行くことができない。

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ
使用料を確保することによって、施設の維持管理が安定して行える。	利用者からの使用料によって施設等の維持管理を行うために行っている事業であり、市が行うことは適切である。	対象・意図とも実態に合っている。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
下水道使用料徴収業務は、市税務課へ委託しているが、利用者間の公平性を期する観点から収納率の向上を図る余地がある。	下水道施設の維持管理ができなくなる。	類似事業はない
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
事業費は、市税務課との委託料と消耗品のため、削減の余地はない。		徴収業務自体は税務課に委託しているが、納付書発送や随時分の料金徴収業務等を考慮すると削減の余地はない。
下水道使用料は、利用者全員から徴収しており公平である。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	平成19年度の下水道使用料の収納率 (96.1%) は、前年度 (91.7%) に比較すると4.4%伸びてはいるが、依然として低い水準になっている。																					
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要																						
・税務課と一体となった収納活動を行う。																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																						
・職員数が全体的に減少している中で、上下水道課において収納を専門に行う職員の確保は難しい。 コンビニ収納の導入、収納業務の外部委託などの検討																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						